

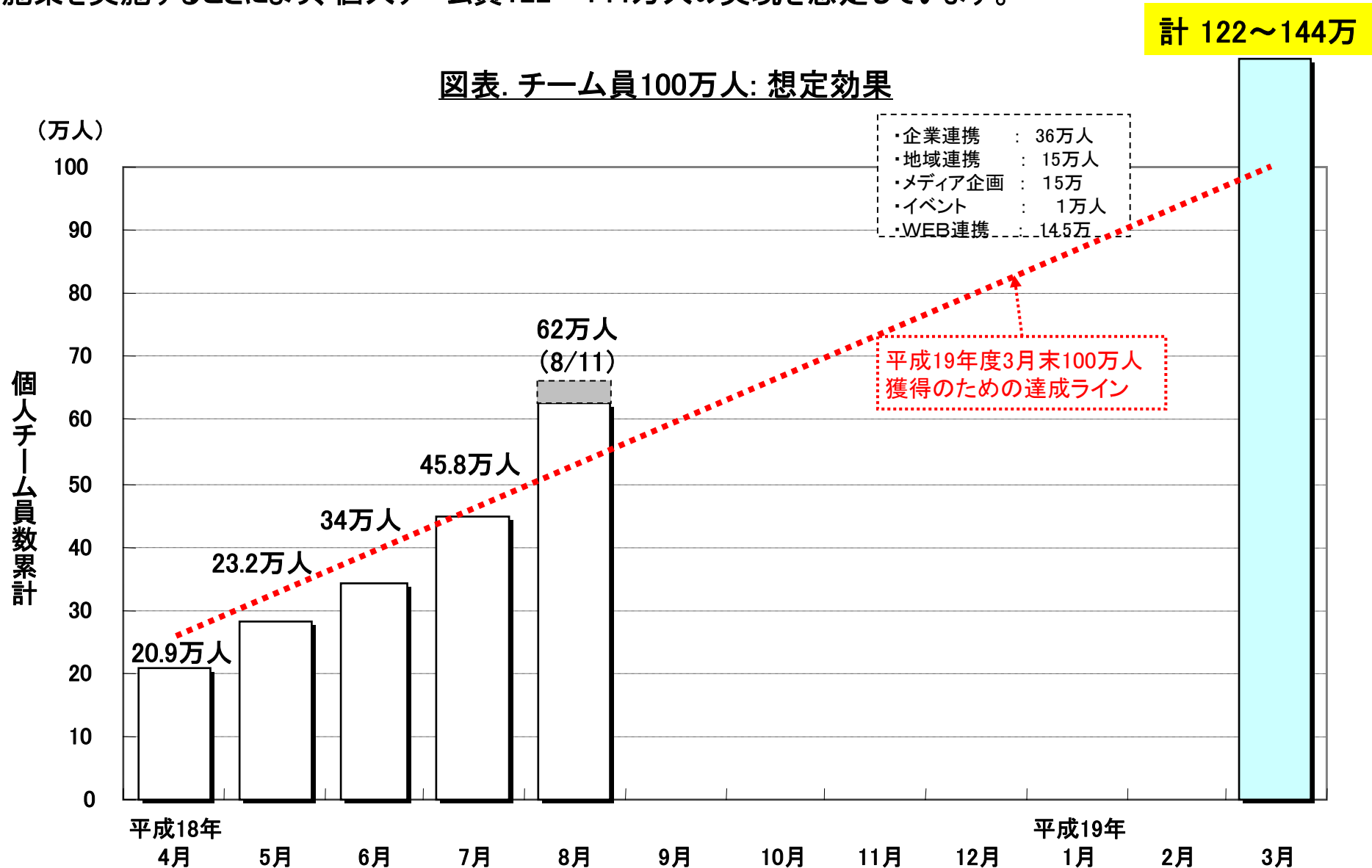
③-5-4/4「チーム員100万人の達成」における全体計画および現時点での進捗状況

			平成18年度							平成19年度					
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
チーム員100万人 主要マイルストーン															
施策	連携先	進捗状況													
[] の連携	[]	実施中													
その他	③ その他メディアとの連携	◎	交渉も含めた準備期間												
	④ WEB連携	◎	交渉も含めた準備期間												

凡例 ◎:企画詳細内容検討中
 ○:協力依頼済
 △:交渉準備中

③-6「チーム員100万人の達成」における想定効果

平成18年度後期は前期で準備を行った大口の企業連携の実現に加え、県単位での連携やWEBコミュニティとの連携の施策を実施することにより、個人チーム員122～144万人の実現を想定しています。



③-7「チーム員100万人の達成」における、参加したチーム員、企業・団体に対する対応

チーム員宣言するメリットをより明確にすることで、より多くの方のチーム員宣言を促進

①隔週配信のメールニュース

「COOL BIZ」「WARM BIZ」をはじめ、地域情報など旬のトピックスとともに、TM6サイト更新情報、TM6関連イベント情報をメールニュースにて提供。また、メールニュース独自編集により、各地域毎のライフスタイルの工夫など、TM6サイトならではのお役立ち情報も提供。

②「チーム員パス」提示メリット

TM6サイトからダウンロードしたチーム員パスを提示によりチーム員企業・団体での活動に参加しやすくなる、ベネフィットが得られる。(チーム員企業・団体には今後企画推進)

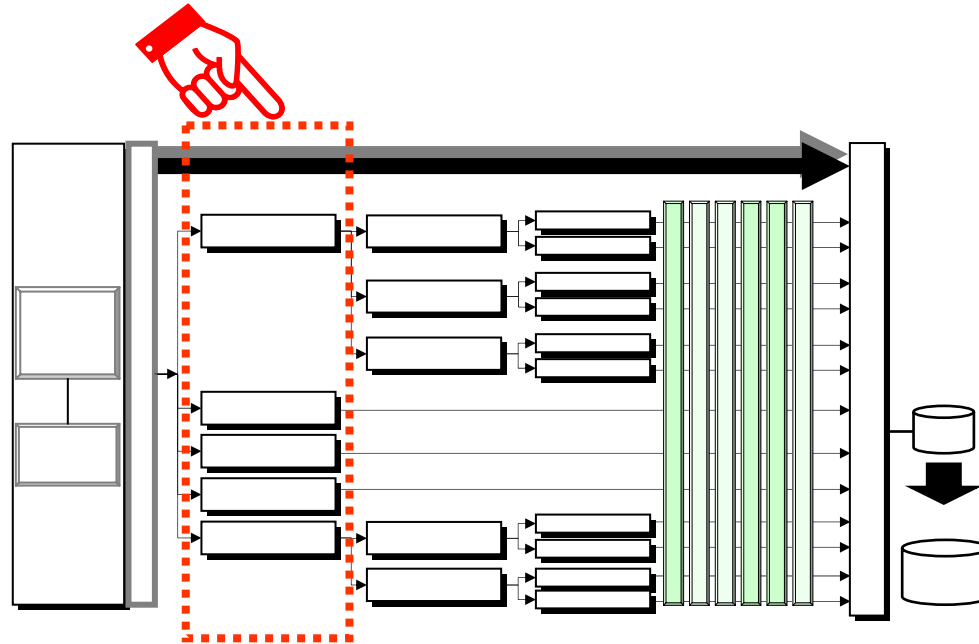


③CO₂削減効果に参加

チーム員は6つのアクションを実際に行動した際に、CO₂削減ポイントをWEB上で貯めていくことが可能。チーム員一人一人の貯めたCO₂削減ポイントも、全チーム員の蓄積で大きな力になることを可視化し、積極的取り組みに結びつける。(具体的な企画は策定中)

チーム員企業・団体にとってのベネフィット

1. チーム員企業・団体の活動がWEBコンテンツ相互活用により、TM6サイト(環境ハブサイト)からの情報発信も可能となる。
2. チーム員企業・団体がCO₂削減のために行っている一般向け活動に個人会員が積極参加しやすくなるために「チーム員パス」掲示によるベネフィット提供をすることが可能



**④経済界、労働組合、NPO、地方公共団体及び地球温暖化対策
推進法に基づく全国センター等幅広い関係者との連絡調整**

～基本仕様書～

- i) 幅広い関係者との連携事業について、企画の立案、連絡調整、事業実施を管理する。
- ii) 事業実施期間を通じた経済界等関係者との連携

④-1「団体との更なる連携」における継続点と進化点

継続（18年度前期の成果）

継続点1:

をはじめとする地域単位のチームの構築を前期に引き続き実施

継続点2:

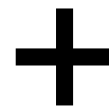
地方テレビ局、地方新聞局、地方ラジオ局をテコとした「県民運動づくり」を前期に引き続き実施

継続点3:

地域の有カステークホルダー、キーパーソンとの関係構築を前期に引き続き実施

継続点4:

優良な地球温暖化防止企画の開発とその検証と横展開を前期に引き続き実施



進化

進化点1:「テコの原理の更なる活用」

連携先のニーズや課題、状況を正確に把握した上で、相互にメリットのあるコンテンツ開発と、仕組みづくりに関するノウハウの確立。

進化点2:「地域との連携の強化」

地域メディアを連携の軸に置いた「県民運動づくり」の手法の確立と全国的な展開を実施。

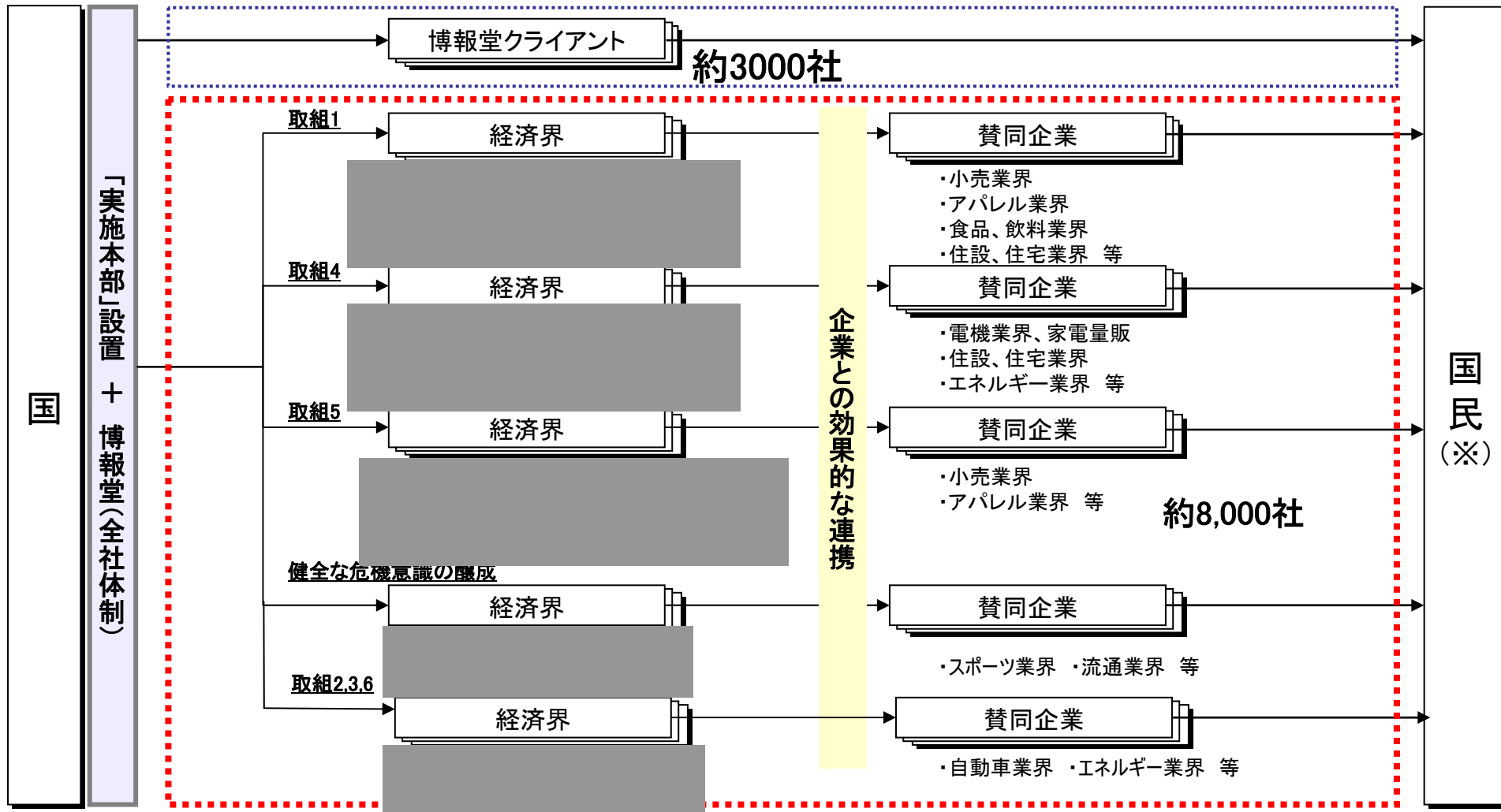
進化点3:「人と人のネットワークの強化」

有カステークホルダー、キーパーソンとの関係を深め、より有機的に人と人が繋がっていくための手法の確立と実施。

④-2-1: 団体との連携(企業・団体): 全体の連携メカニズム

企業・団体との連携では、経済界を起点とし、汎用ツールを提供することにより更に多くの企業との連携を実施します。

図表. 企業・団体との連携全体図



平成18年度前期 既に展開した領域 (Blue dashed box)
 平成18年度後期までに 既に連携準備のできている業界 (Red dashed box)